

## 発見！白井の仕事人 51 「人のキモチ」をモノにカタチにする企業 株式会社ソフケン

今回は、白井工業団地に本社を構える株式会社ソフケンについて紹介します。



株式会社ソフケン外観

株式会社ソフケンは前開き式アルミパネルをはじめ、アルミのフレームを生かしたスタンド、パーテーション、展示ブース、金属や樹脂を生かした医療器具、また玩具、画材、文具、日用雑貨に至るさまざまな製品の企画製造、販売、さらには工業デザイン、技術開発、特許案件の共同開発提案といった事業を展開しています。

創業者で代表取締役の駒村武夫さんは、都立工業高校を卒業後、工業デザイナーとして大手電気会社に入り、日本初のブッシュホンをデザインしたのを皮切りに、次々と指名を受け活躍していました。

しかし、ある日上司から「うちぐらいになるといい仕事はしなくていい。いい仕事があったら中小企業にいけばいい。君は中小企業向きだ」と言われて転職し、いったん中小企業で医療器具や精密機械のデザインと開発に関わった後、昭和58（1983）年に会社をつくり、最

初は自宅で紙と鉛筆だけでアイデアを特許にしたい人たちの手伝いをする受託開発を始めました。

その間にさまざまな発明を行い、やがてヒット商品や特許品が生まれ会社が軌道に乗り出し、自社生産を増強するため白井に土地を求めて平成10（1998）年に工場を建て、本社を移したそうです。



展示ブースも作っています

企業規模に比べ事業が多岐にわたるため「中心はアルミパネル製造でしょうか」と尋ねたところ、駒村さんは「ソフケンはアルミパネルを作っている会社ですがとよく聞かれますが、ニーズがあれば何でも作ります。デザインは結果を出すためにどうするか、人と組むこと、問題を解決すること、設計すること、意図することも含め一つにまとめる総合と言えます。何でもできるとは言いきかもしれませんが、テーマでも宿題でもボールを投げてくれれば、必ずお返ししますというのがうちの会社です」とこやかに答えてくれました。

■ 商工振興課商工振興班  
内線 3243